

全国農業



新聞

首都圏

これで勝負!

大消費地にいどむ

首都圏農業

146

南アルプス市 中込農園

【山梨】南アルプス市で6月から12月まで果物狩りが楽しめる中込農園(中込一憲・中込一正共同代表)は、年間の来訪者が4万人を超え、その1割以上が外国人という人気の観光農園だ。

インターネットが普及して間もない1996年にホームページを開設。翌97年には英語が堪能な一正さん自ら英語版ホームページを作成し、アピールに成功した。今では

中国語版も追加し、各国のインターネットサイトで「日本の果物狩り」と検索すると最初のページに出るといふ。

同園では他に、宿泊して農作業を体験する「ファームステイ」も人気だ。農業体験では摘粒や袋がけなど日本独自の栽培方法を伝え、ステイで



①ファームステイの外国人客
②和のたたずまいの宿舎入り口で中込一正さん

は食事や風呂の入り方などで日本の文化やマナーに触れられる。外国人を迎えるに当た

っては事前にヒアリングし、念のため外国語で記載した誓約書にサインをもらい、トラブルを未然

に防ぐ工夫もしている。一正さんは「日本ほど手間をかけて丁寧に果物を作る国はない。そこを感じてほしい」と語る。

ファームステイ 外国人にも

中込農園に関する情報は、nakagominouen.comを参照。